

生産動態調査

織維部門

(昭和31年12月度分)

(調査企画課商工調査係)

概況

織物

綿織物の生産は前月度の約13%増で、本年度最高の生産高を記録した。

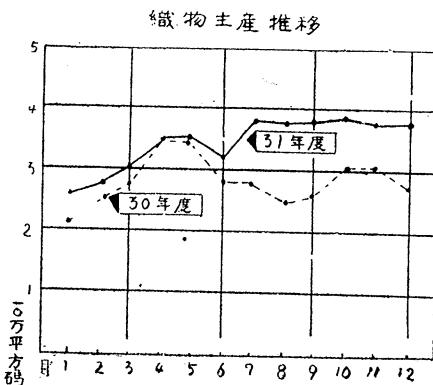
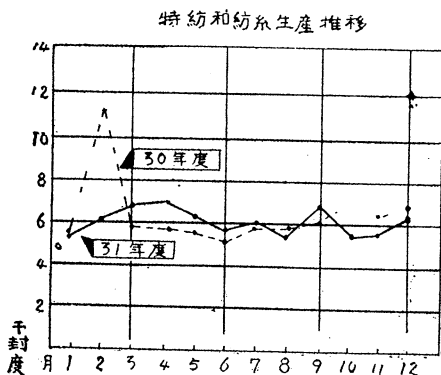
絹織物は春向の生産を始めたので前月度より約16%増加、引渡高は約56%増加となった。

メリヤス製品

メリヤス製品の生産は前月度の約11%増、引渡高は約24%増で春向製品の需要が目立つ。

縫製品

学校服、作業服、制服、中衣肌着の生産が増加し、作業服、制服の引渡高増加が顕著である。



(1) 対象工場数

業種	特紡和紡糸	綿織物	絹織物	メリヤス製品	雑織維製品	縫製品	製綿
対象	7	17	315	10	3	18	9
操業	7	17	314	10	3	13	9
休止	—	—	1	—	—	5	—

2) 生産および出荷状況

部門別	品目別	単位	生産高		引渡高		月度末在庫高	
			当月度	前月100対比	当月度	前月100対比	当月度	前月100対比
紡	計	封度	63,460	106	61,860	104	5,946	137
	落綿糸	//	11,000	110	10,000	100	1,200	600
	特紡糸	//	43,800	106	43,200	104	2,325	134
	和紡糸	//	8,660	104	8,660	104	2,421	100
績	織物計	平方碼	364,407	103	313,533	96	245,485	127
	綿織物	//	210,643	113	197,831	107	117,361	113
	絹織物	//	57,302	114	37,508	154	67,404	142
	絹紡織物	//	5,423	150	5,707	164	4,121	94
織	和紡織物	//	61,178	77	53,472	68	33,772	129
	特紡織物	//	—	—	—	—	—	—
	スフ織物	//	1,351	—	1,238	—	113	—
	人絹織物	//	—	—	—	—	—	—
物	合成繊維織物	//	28,510	64	17,777	49	22,714	189
	メリヤス生地	度封	9,075	66	11,675	115	5,847	69
	製品計	打	10,166	111	12,603	124	4,576	79
	肌着	//	2,891	99	2,984	102	582	86
メリヤス製品	外衣	//	260	195	260	195	—	—
	手袋	//	5,613	115	7,439	132	1,984	79
	靴下	//	1,402	117	1,920	132	2,010	78
	計	封度	1,932	85	2,592	82	2,370	92
雑繊維製品	漁網	//	502	80	695	66	1,037	100
	漁具糸	//	1,430	86	1,897	81	1,333	88
	学校服	着	3,065	200	3,144	224	1,025	93
縫製	作業服	//	8,649	242	9,739	378	157	113
	制服	//	2,735	390	2,735	395	—	—
	乳児および子供服	//	956	65	1,256	101	524	72
	既成服	//	4,195	60	4,577	65	552	59
品	中衣・肌衣	点	19,651	184	19,023	185	32,787	102
	綿綿	封度	375,894	120	430,048	121	69,440	56

★本表は、生産動態統計調査規則に定められている繊維工場を調査対象としたものであるが、特紡糸、和紡糸以外の紡績工場および抽出調査工場は含まれていない。

機 械 部 門

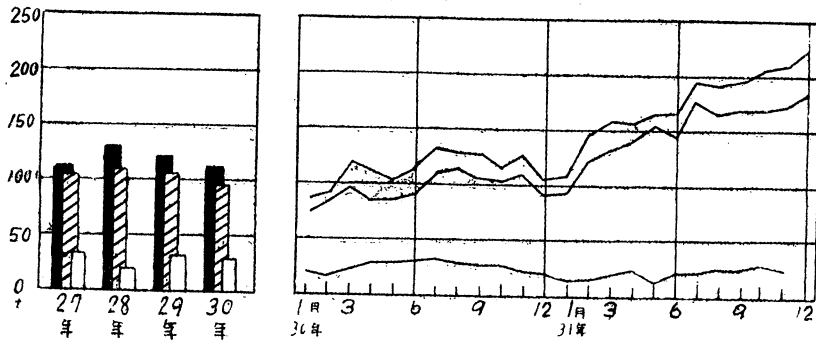
(昭和31年12月度分)

概 況

鉄鉄鑄物の生産は前月に比べ108%で今年の最高を示し出荷も同様105%と最高を記録した。

た、これを品目別にみると産業機械器具用94%、鉄道および車輛用129%、電気通信機器用139%、日用品115%である。

鉄鉄鑄物の推移



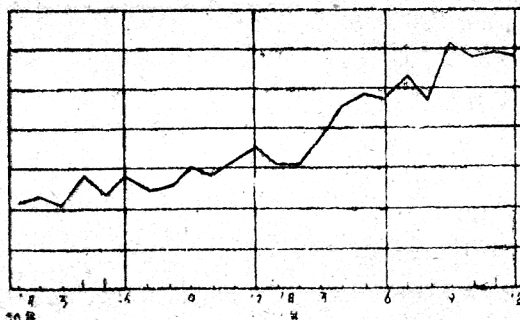
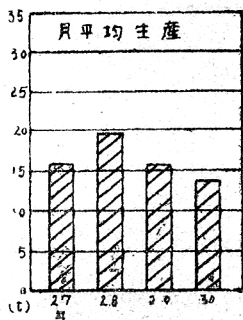
銅合金鑄物の生産は前月と全く同じで9月に次ぐ生産である。

軽合金鑄物の生産は前月より45%増という激増ぶりである。

鉄 鐵 鑄 物

区分 用途別	生 産		出 荷		自己消費	月末在庫	対象工場数 12
	重量 kg	金額 千円	重量 kg	金額 千円	重量 kg	重量 kg	
総 数	228,415	17,406	180,996	14,592	42,850	30,294	生産前月対比
産業機械器具用	130,622	10,353	115,999	9,366	9,489	14,404	108
維 機 械 器 具 用	—	—	—	—	—	—	出荷前月対比
鉄道および車輛用	6,847	526	6,847	526	—	—	105
電気および通信機器用	44,317	3,700	44,317	3,700	—	—	在庫前月対比
農水産機器用	—	—	—	—	—	—	120
港湾および船舶機器用	—	—	—	—	—	—	
雑 機 械 器 具 用	15,762	1,017	4,562	345	11,200	—	
日 用 品	9,961	841	6,715	480	3,811	15,890	
鑄型および鑄型定盤	18,350	734	—	—	18,350	—	
口 ー ル	—	—	—	—	—	—	
そ の 他	2,556	235	2,556	235	—	—	

銅合金鑄物の推移



銅合金鑄物

用途別	区分生産	
	重量 kg	金額 千円
総数	29,565	14,440
産業機械器具用	2,942	1,500
電気および通信機器用	9,417	4,197
鉄道および車輛用	372	212
港湾および船舶機器用	519	332
軸受メタル	3,019	1,772
管継手	—	—
バルブコック	13,072	6,280
建築用	20	17
日用品	—	—
その他	204	130
対象工場数	7	生産前月対比 100

軽合金鑄物

用途別	区分生産	
	重量 kg	金額 千円
総数	8,205	3,659
産業機械器具用	387	186
繊維機械器具用	—	—
鉄道および車輛用	1,514	983
電気および通信機器用	5,723	2,286
精密機器用	—	—
農水産機器用	—	—
日用品	—	—
その他	581	204
対象工場数	5	生産前月対比 145

※本表の工場は下記の定義にもとづいたものである。

鉄鑄物については従業員10名以上、銅合金鑄物および軽合金鑄物については従業員5名以上の工場が調査の対象である。

雑 貨 部 門

(昭和31年12月度分)

概 況

金属製がん具

今月の生産数は前月より11%下回つた。これは出荷において、国内向けは増加したが輸出向けが27%と減少した結果であり例年に見られた冬期の生産増加はなく本県におけるがん具製造業界の不振を示している。

草 靴

今月は生産において前月より8%の増加を見せたが10月度に比較すれば8%下回っており昨年に見られたような8月度を界として上昇し12月度には1,140足となったのに比べれば34%も下回っている。これは一般的に必要な数が確保されただのに加え婦人の正月における和服の影響も見のがせない一因ではないかと思われる。

漆 器

今月は生産31%出荷23%と増加し冬期生産に順調の伸びを示しながら本年最高の生産数を見せた。

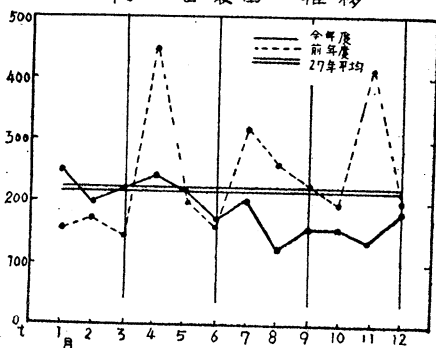
建築用コンクリートブロック

今月は生産数24,725個と前月より85%も増加したこれは春期に向い需用の増加が見込まれる結果と思われる。

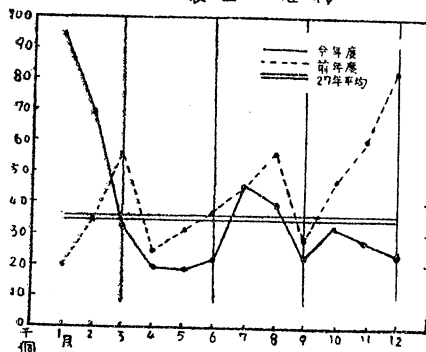
陶 磁 器

今月は生産において41%出荷において44%と増加した。これは正月をひかえた需用増加に加え農閑の影響と思われる。

陶磁器製品の推移



がん具製品の推移



業種	製品名	区分	単位	生産数量			出荷数量						月末在庫数量	事業所数 (操業)	
				数量	前月 対比	金額	国内向		輸出向		金額	金額			
							数量	前月 対比	数量	前月 対比					
	金属製がん具		個	26,100	89%	1,048千円	5,004	148%	475	21,096	73%	573	—	3(8)	
革靴	総数		個	750	103	1,394	754	87	1,609	—	—	—	543	5(5)	
	男子総革靴		個	640	105	1,156	632	85	1,337	—	—	—	286		
	婦人		個	110	96	238	122	101	272	—	—	—	254		
	その他靴		個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3		
漆器 (木製)	総数		個	2,361	131	915	2,409	123	921	—	—	—	64	12(8)	
	食器類		個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	容器類		個	732	152	100	742	157	102	—	—	—	10		
	食卓子、膳盆類		個	1,628	122	814	1,666	112	818	—	—	—	52		
	その他		個	1	—	1	1	—	1	—	—	—	2		
建築用 コンクリート ブロック	総数		個	24,275	185	733	27,084	173	927	—	—	—	37,136	3(8)	
	A種	基本 異型	個	2,783	595	86	3,158	120	124	—	—	—	6,512		
			個	280	280	10	83	26	3	—	—	—	1,754		
	B種	基本 異型	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
			個	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	C種	基本 異型	個	10,368	288	372	10,575	149	398	—	—	—	10,306		
	個		566	226	20	432	161	16	—	—	—	1,321			
	帳壁用ブロック		個	10,278	116	245	12,836	239	386	—	—	—	17,243		
陶磁器	総数		瓦	192,952	141	21,048	188,788	144	21,024	—	—	—	84,258	15(14)	
	電気用品	特別高圧用 高圧用 低圧用 その他	特別高圧用碍子	瓦	35,177	83	13,183	35,177	—	13,183	—	—	—		—
			高圧用碍子	瓦	1,856	130	2,215	1,856	—	2,215	—	—	—		—
			低圧用碍子	瓦	3,284	100	3,683	3,284	—	3,683	—	—	—		—
			その他	瓦	395	—	514	395	—	514	—	—	—		—
	家庭用品		瓦	108,040	133	1,000	102,576	134	963	—	—	—	80,958		
衛生用品		瓦	44,200	553	453	45,500	569	466	—	—	—	3,100			
	その他		瓦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	200		
赤れんが		個	x	—	x	x	—	x	—	—	—	x	3(1)		

※対象工場数、生産数量及び出荷数量において2以下の事業所については公表を禁じられているので、金属洋食器、がらす製品は除外した。

がん具、革靴、陶磁器は5人以上の事業所、漆器、コンクリートブロック、赤れんがは全事業所である。